

三重創生ファンタジスタ資格とは

三重県は全国2位の経済成長率(※)を誇り、とくに製造業を中心とした生産力の向上や周辺産業の創出に対して、若い優秀な人材を求める声が高まっています。伊勢湾に生まれた海の幸や南北に長い地勢から生まれる山の幸、日本人の心の拠り所である伊勢神宮や世界遺産・熊野古道、自動車産業の夢の舞台である鈴鹿サーキットやMRJに代表される航空宇宙産業など、数多くの地域資源をいかにして産業に結び付けるかの地域イノベーションが期待されています。 ※2009-2018 県民経済計算より

文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」における三重県での取組みとして、三重県内の全高等教育機関(四年制大学、短期大学、高等専門学校)と県内企業、自治体が協力してこれらの地域イノベーションに貢献する人材「三重創生ファンタジスタ」を養成しています。学生たちは地域について学ぶ授業やイベントなどを通し、課題解決能力やリーダーシップ、コミュニケーション力を現場で身につけ、地域で活躍する人材を目指しています。

『三重創生ファンタジスタ』とは・・・



状況や事態を的確に把握し、複眼的な視点から柔軟で想像力と創造力に富んだ発想や思考ができ、行動力とリーダーシップを発揮しながら、周りの人と協働できる人材

現在、この資格には下図のように3つのクラスがあります。三重創生ファンタジスタ資格を取得した学生は、段階的にステップアップし、地域に貢献するための知識や行動力が養われます。これらのプログラムにより様々な科目で三重を学んで、三重の課題に取り組む意欲の高い学生を養成しています。

地域の課題に応える三重創生ファンタジスタへ

エキスパート

高度な社会人基礎力を備え、地域課題の解決に主導的に取り組み、
地域イノベーションを創出することができる

アドヴァンス

ベーシックで得られた地域への深い知識に加えて、地域が抱える固有の課題
(食と観光分野、次世代産業分野、医療・健康・福祉分野)
に対して、他者と協働して解決策を提案することができる

ベーシック

三重県の歴史・文化・産業等の特徴を理解し、地域が抱える課題に対して深く関心を持ち、
主体的な活躍を期待できる

本パンフレットでは、各高等教育機関がどのような学生を養成しているのかを紹介します。